



キャンパス・コラム

今時の学生は忙しい

最近の学生は、勉強しないとか、学力が落ちたとか新聞に掲載され、世間でよく言われている。確かに私たちが学生の頃といえば、喫茶店へ行っておしゃべりしたり、麻雀屋へ行ったり、あるいは酒を飲むことぐらいしかすることがなかった。アルバイト先も余りなく、働くなら朝から夕方までならきちんとして働かなくてはならなかった。多くの学生は、時間をもてあまし、お小遣いも少なく、勉強するしかなかったかもしれない。

しかし、それに比較すると、最近の学生は、喫茶店も麻雀屋へもほとんど行かない。それが証拠に繁華街や大学街にたくさんあった喫茶店も麻雀屋も余り見かけなくなってしまった。僅かに残っている店へ行っているのは、おじさんばかり。今時の学生は、まさに豊かさの真只中に生まれ、育った若者で、ちょっとアルバイトすれば何がしかのお金を手にすることができる。その上、サークル活動も忙しく、これにも何が

しかのお金が必要である。オールランド・サークルに入って、夏にはテニスの合宿、冬にはスキーの合宿へ出かけ、その間には飲み会を頻繁に開く。ゼミの付き合いもこなし、洋服についても、個性化が進みいろいろな洋服を持っている。その上、デートにも行かなくてはならない。したがって、今時の学生は忙しいのである。それゆえ、たくさんのお金がある。まさに私たちの頃と比べると絶対的にはお金もちだが、相対的には貧乏なのかもしれない。

そのためかアルバイトに精を出す学生も見られ、それを新聞などで余り勉強しないといわれているのかもしれない。しかし、アルバイトも行き、忙しいなかでも授業にもしっかり出席している学生も多くいる。私たちの学生の頃だと「先生が言うのだから間違いない」と考え、納得しがちだったが、先生がなんと言おうと自分が納得しなければ、「良くわからない」という。あれもこれも上手にやって、昔と違って今時の若者は実にしっかりしているように思われる。

広報委員 奥本勝彦（商学部教授）

夏季号のコラムの中で筆者の肩書きなどにあやまりがありましたので、お詫びいたします。